



中野本郷

令和5年度 6月号
令和5年6月1日
中野区立中野本郷小学校
校長 福山 広伸
児童数 321名

日々の「関わり合い」の中で育まれる力

校長 福山 広伸

近い将来に社会の第一線で活躍する未来っ子たちにとって、「コミュニケーション能力・表現力」は、その育成を図らなければならない大切な重点課題だと考えています。「聞く力」「話す力」には、より正確に「わかろうとする・伝えようとする」気持ちをもつことがベースになります。その上で、自分本位では無く、相手の気持ちや立場を理解しようとすることも必要で、意思・意欲・態度が知識・技能の習得と同様に重要な要素と言われる所以です。

普段の学習の中でよくある「小グループでの課題探求活動」などは、「コミュニケーション力」を育む良い活動場面であると思っています。互いに「考えを聞く・伝える」意見交流の場面を通して、互いの考えを尊重しながら一つの形を創っていくこと、相手の気持ちを思いやりながら互いの考えを融合したり修正したりしていくこと、そして新たなものを創造していくこと、すべてが「関わり合い」の経験からなる「学び」です。

子どもは、個人の特性・能力、成長速度など千差万別。その個性は、目に見える表面的な部分や現時点での結果や到達度だけで判断できるものではありません。子どもの教育を「将来的な成長」という視点で考えるならば、子どもの内なる状態に目を向け、内面的・精神的な面への指導・支援がとても大切です。そして私達大人が周囲との比較対象で「今現在の姿・結果」ばかりに目を奪われ、執着するあまりに、子どもの自信を奪い、夢や希望を失わせ、無限に伸びるべき可能性を摘んでしまうことのないようにしなければなりません。“結果主義”ではなく“過程主義”で子どもを見ていくことが「今後の成長に生かされる力」を育むことになるでしょう。

授業での様子を見てみると、「ねえ、こうしようよ」と誰からともなく相談が始まり、話し合いの推進役になる子も現れてきて、「じゃあ、私はこれをやるね」と仕事を分担し、それぞれが互いに声を掛け合いながら活動する姿が見られます。しかし、必ずしもこのようにうまく事が進まないことも時にはあります。それもまた貴重な経験であり、学びの場であると思っています。関わり合いながら活動する中で学び得るものが、必ず子どもたちの将来に生きてくるものと私は信じます。

今回のスポーツデーへの取り組みも、子どもたちの「やってみたい、できるようになりたい」「伝えたい、見てほしい」という気持ちを大切にしながら、自分の可能性をまた一歩広げ、「昨日の自分とは少し違う今日の自分」を実感させてあげられるような取り組みを期待してきました。日々の小さな一歩のためには、自分自身に今までより少し多めの負荷をかけていくことも必要で、意欲の高揚・意欲の持続のための支援を心掛け、各学年の担任たちは日々指導に努めてきました。

小さな日々の一歩が積み重なった成長の姿を、今回のスポーツデーの様子から感じ取っていただけたなら、大変にうれしく思います。子どもたち一人ひとりには、「大きな動きで表現するために、家でも繰り返し練習した」「友だちのアドバイスを聞いてやってみたらうまくできた」「時間に遅れないように、次にやることを考えて行動した」など、当日の発表の中には、目に見えない小さな一歩の貴重な学びの姿もあったことを最後にお伝えさせていただきます。

スポーツデーへの多数のご来校、心強い拍手とご声援、誠にありがとうございました。

6月の生活目標 健康と安全に気をつけよう

6月は梅雨の時期でもあり、室内で過ごす時間が多くなります。雨の日が続くと、休み時間に校庭で十分に体を動かす機会が少なくなり、無意識にストレスをため込んでいることも考えられます。そして、このストレスが心をイライラさせる要因にもつながります。そのため、つい友だちに対して強い口調で話してしまったり、校庭と同じような行動をしてしまったりする児童も見られ、トラブルや事故につながりやすくなります。そこで、今月はそれらを事前に防ぐために本を読んだり、友達とおしゃべりをしたりと室内だからこそできる楽しく雨の日を過ごす方法を考えさせていきます。また、規則正しい生活を送ることも穏やかに一日を過ごすための方法の一つです。ご家庭でも、雨の日の過ごし方や規則正しい生活について話題にしてみてください。

(生活指導委員会)